

# 速報値と確報値で改訂される要因や傾向について

調査票締切日に先だち、ある時点でそのときまでに提出された調査票で集計した値を速報値として公表している。その後、追加された調査票を加えて集計した値を確報値として公表している。

## 傾向について

- 確報は速報に比べて、相対的に賃金水準の低いパートタイム労働者の割合が高まり、きまって支給する給与及び所定内給与が下方改訂される傾向がみられる。

## 要因について

- 速報から確報にかけて、パートタイム労働者比率の高い事業所の調査票が提出され、確報時に集計に加わるためと考えられる。

## (参考)速報値から確報値への変化分の要因分解

※ 速確比 = (確報値 ÷ 速報値 - 1) × 100

